

徳島市民病院

# 地域医療連携だより

平成24年

5  
月号〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室  
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

## 小児医療の現状 ～地域完結型医療を目指して～

小児科主任医長 山上 貴司



### 1. はじめに

先日の徳島新聞に『徳島市夜間休日診療所が窮地 小児患者急増、医師は減』という記事がありました。

それによると、平成23年の患者数は約17,800人（うち7割が小児科）で、10年前の1.6倍に増加しているが、同診療所で小児患者に対応する医師数はピーク時の約2/3に減少かつ高齢化しています。近い将来には同診療所の運営が困難になるかも知れないとありました。

また、窮地に立たされているのは前述の診療所に限ったことではありません。24時間365日、安心して小児医療が受けられるために必要な病院小児科勤務医師数も十分と言える状態ではありません。

少ない小児医療の資源（医師の労働力）を効率的に地域の皆様に提供していくための当院での取り組みをご紹介します。

### 2. 外来診療

子どもの多くは、急な発熱や咳・鼻汁、嘔吐・下痢等の感染症状やアトピー性皮膚炎や気管支喘息等のアレルギー症状、病気以外では乳幼児健診や予防接種のために小児科を受診しています。子どもの病気の多くは軽症であるが、急な発症のことが多く、速やかに対応してくれる『かかりつけ医』を持つことが大切になります。

当院の役割は、『かかりつけ医』の役割を果たしていただいている医療機関を支援することを第一と考えています。具体的には入院が必要な場合、詳しい検査が必要な場合、より専門的な対応が必要な場合、診療に時間がかかる場合等の紹介患者に対応する為、相談外来、神経外来、循環器外来、アレルギー外来等の専

門外来を行っています。専門外来は1人当たりの診療時間が長く、特殊な検査を行うこともありますので、予約が必要となります。（詳細は徳島市民病院のHPに掲載してあります）。

午前の診療時間内には、当日受付患者も診療していますが、紹介患者および予約患者を優先していますので待ち時間が長くなったり、特別な料金がかかることがあります。なお、午後は紹介および予約患者のみに対応しています。急な症状で、当日受診を希望される場合は、『かかりつけ医』を受診し、病状により紹介受診となります。

当院では、地域の医療機関で対応できる医療はお任せし、そこで対応しきれない医療を積極的に受入れ、地域の病院小児科としての役割を果たしていきたいと考えています。

### 3. 小児救急・時間外診療

診療時間内と救急担当日に救急車の受入れを行っています。また、平日17～19時に入院や特別な処置が必要な紹介患者を受入れています。小児科では夕方に受診される方が多く、診療所の先生方の診療支援の一環として行っています。2時間と短い時間ではありますが、ニーズが多く、効率性の良い取り組みと思っています。

現在、徳島市夜間休日急病診療所と徳島県立中央病院と当院の小児科で、徳島東部地区（徳島市及びその周辺）の時間外小児医療について、同診療所でトリアージ（重症度の判定）をして、処置や入院の必要な患者を病院小児科に紹介するようなシステム構築を相談しているところです。

多くの保護者はお子さんの急な発病に対して、不安に思われ医療機関を受診しています。『かかりつけ医』と相談して、お子さんの病気に対する簡単な対処法を身に付けておくことも不安の軽減に役立ちます。不要不急の受診を減らすことで、『かかりつけ医』によるより安心で安全な医療が受けられます。

#### 4. 入院診療

毎年、1000名以上（2011年は1080名）の子どもが入院しています。扁桃炎や気管支肺炎などの呼吸器感染症、胃腸炎に代表される消化器感染症が多くを占めます。各種感染症に対しては、原因菌と感染部位の同定を行い、抗菌剤の適正使用により治療期間及び入院期間の短縮に努めています。あまり知られていないかもしれませんが、小児ではインフルエンザウイルス感染よりRSウイルス感染症、ノロウイルス胃腸炎よりロタウイルス胃腸炎が重篤化しやすく、入院患者数も多いです。また、感染症以外では痙攣性疾患や川崎病、ネフローゼ症候群、リウマチ性疾患など様々な疾患に対応しています。

小児病棟は、最上階の11階にあります。子どもの病気が改善し、退院間近になる頃には色々な景色を楽しむことができ、保護者の方の疲れも一緒に癒されて退院していただければと思っています。

#### 5. 新生児医療

6階にある新生児集中治療室（NICU/GCU病棟）にて病的な新生児に対応しています。年間入院数は、500～600人前後です。1500gに満たない極（超）低出生体重児や新生児仮死、新生児一過性多呼吸などに対応しています。院内出生だけでなく、産院からの新生児搬送には24時間365日対応しています。また、疾患の種類や重症度によっては総合周産期母子医療センターである徳島大学NICU等と連携をとっています。

以上のように小児医療は多岐にわたる分野を担っており、1つの医療機関ですべてをカバーすることは不可能です。今後も、当院小児科は子どもに関わる全ての方々と連携を取り、より効率的に医療を提供できるように努め、子育てがしやすい徳島にできればと思っています。

## お祝い膳始めました

当院では4月26日より、ご出産されたお母さまにささやかなお祝いとして、お祝い膳をご用意しています。生まって間もないですが、お母さま方から好評を得ております。当院でご出産予定の方は、是非お楽しみに☆



## 市民公開講座のご案内

次のとおり、市民公開講座を開催いたします。多数のご参加をお待ちしておりますので、是非ご来場ください。

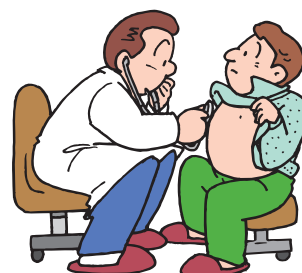
【日時】 平成24年6月30日（土） 10時～12時

【場所】 ふれあい健康館 1階ホール

【内容】 『肺癌の内科治療について』 内科医師 吾妻 雅彦  
 『最近の肺癌外科治療について』 外科医師 三好 孝典  
 『甲状腺癌について』 外科医師 山崎 真一

【定員】 200名 【参加費】 入場無料

【お申込・お問い合わせ】 ふれあい健康館 TEL：088 - 657 - 0190



平成24年3月の紹介患者数(再診患者を含む)  
 339医療機関より1070名ご紹介いただきました。  
 ありがとうございました。